

令和4～7年度
富谷市内小中学校図書室
図書管理システム等賃貸借

仕様書

令和4年1月

富谷市教育委員会

1. 件名

令和4～7年度 富谷市立各小中学校の図書室システム等賃貸借業務

2. 概要

小中学校における読書環境の向上、小中学生の読書能力の発達や調べる学習などの言語活動の充実の更なる支援のために賃借している図書システムについて賃貸借期間が満了になるため、新たに機器を選定し48ヶ月の賃貸借契約を行なうもの。

3. 事業実施場所(納品先)

学 校 名	住 所
富谷小学校	富谷市富谷狸屋敷 85
富ヶ丘小学校	富谷市富ヶ丘一丁目 17-37
東向陽台小学校	富谷市明石台一丁目 37-13
あけの平小学校	富谷市あけの平二丁目 18-1
日吉台小学校	富谷市日吉台1丁目13-1
成田東小学校	富谷市成田六丁目 36-1
成田小学校	富谷市成田三丁目 1-1
明石台小学校	富谷市明石台五丁目 15-1
富谷中学校	富谷市穀田字土間ノ沢 1-9
第二中学校	富谷市あけの平三丁目86
東向陽台中学校	富谷市明石台一丁目 14
日吉台中学校	富谷市日吉台三丁目 19-2
成田中学校	富谷市成田 3 丁目 34-1

4. 納入期限

契約日の翌日～令和4年3月31日

5. 賃借期間

令和4年4月1日～令和8年3月31日

6. 業務内容

- ◆ 小中学校13校に別紙1「機器仕様書」記載の仕様を満たす製品を調達、納入し図書館端末(2台/校)にクラウド型図書館サービスが動作する環境を構築すること。
- ◆ 既存ネットワーク及びネットワーク機器を有効活用すること。
- ◆ MARC 会社は TRC を利用するため、MARC 使用料(5年間分)を見積りに含めること。
- ◆ 現行システム(LB@SCHOOLV2)の書誌、所蔵、利用者、貸出データを漏れなく移行を実施し、納品後速やかに業務が行えるようにすること。
- ◆ 図書館システムの確実なデータ移行を実現する為、必要となるデータ移行作業は図書館システムメーカーに依頼するものとし、費用は本調達に含めること。
- ◆ セットアップ、データ移行が完了した後、本市関係者向けに富谷市内にて集合研修を 2 回実施すること。
- ◆ 図書館システムの操作説明書を作成し、提供すること。

7. サービスの基本的な要件

- ◆ 学校図書館業務の全般をサポートするサービスであること。
- ◆ インターネット回線を介して全機能を提供するサービスであること。
- ◆ 学校とサービス提供元は暗号化(SSL 通信)された通信により接続されること。
- ◆ 学校図書館業務に関するプログラムおよび各種データはサービス提供元センター(以下「データセンター」という)に設置するサーバで一元管理し、各学校にはデータベースサーバが不必要であること。
- ◆ 学校側のクライアントは Web ブラウザおよび Web ブラウザ用のプラグインソフトのみで動作すること。
- ◆ 帳票機能に関してはクライアントの EXCEL に出力しプレビュー・印刷ができること。また 2 次加工が可能なデータとして保存が可能なこと
- ◆ 学校側の端末設定はインストーラのみにより簡単設定ができること。
- ◆ サーバ管理業務(データバックアップ、サーバセキュリティ管理、システムレベルアップ等)は全てデータセンターで管理・運用し学校側の運用作業は一切発生しないこと。
- ◆ 各学校での蔵書情報等の登録にあたっては、データセンターに設置するサーバのハードディスク内に登録された標準書誌データを活用でき常に最新の書誌データを維持すること。また、そこから必要な書誌データを即時に引き出せること。
- ◆ データセンターサーバの標準書誌データは、提供元の MARC 会社とのネットワーク連携により、常に最新の新刊情報データがサーバに取り込まれる仕組みを有すること。
- ◆ 学校はデータセンターが準備提供する MARC 会社の標準書誌データを、選択／契約して利用できること。
- ◆ 提供元の MARC 会社は 3 社(TRC、NAC、日書連)の中から選択することが出来ること。
- ◆ データセンターサーバの書誌情報は、標準書誌データ以外に学校独自のローカル書誌データの蓄積ができること。
- ◆ 導入されるシステムのインタフェースは、先生用、児童・生徒用の2つのインタフェースを持ち、先生用機能はID／パスワードによる入力制限がされていること。
- ◆ 児童・生徒用の画面は、小学校低学年用の児童が自ら利用することに十分配慮されたグラフィカルでわかりやすいものとし、小学校児童用と中・高学生用の2つのデザインが設定により選択できること。また画面インタフェースは、ユニバーサルデザインに準拠したものであること。
- ◆ 児童・生徒用の画面は、設定により貸出・返却・資料検索等の利用できる機能を自由に選ぶことができること。
- ◆ サービスの利用は、特定 URL から学校向けに発行された ID／パスワードの入力により可能になること。また、児童・生徒画面は端末起動と同時に自動起動設定ができること。
- ◆ サービスの利用はインターネット接続環境であればどこからでも可能であるが、同じ ID で後からログインしようとした場合、ワーキングメッセージが表示されること。
- ◆ 学校図書館業務機能以外に、オンラインサポート機能、コミュニケーション機能も有すること。
- ◆ オンラインサポート機能により、サービス提供元に Web フォームによる Q&A が行えること。また、Q&A 履歴の参照や、FAQ 参照、事例検索などのサポート機能が利用できること。
- ◆ 一部の操作については、オンラインガイドとして動画で操作方法を説明する機能があること。
- ◆ コミュニケーション機能により、サービスを利用している他校との情報交換・共有が可能であること。

8. 詳細仕様

8-1. 基本機能

- ・ GUI 環境で業務及び OPAC が行えること。
- ・ 利用者区分(先生・生徒等)ごとの機能制限を持つこと。

8-2. 運用業務

- ・ 長期休業、臨時休館日等の設定およびメンテナンスができること。
- ・ 図書及び書誌管理番号等の番号管理メンテナンスができること。
- ・ 貸出規則管理ができること。
- ・ 図書番号のバーコードラベル出力ができること。

8-3. 資料管理

図書

- ・ 書誌データは必要に応じて修正・追加ができること。
- ・ 複本管理ができること。
- ・ 標準書誌データはサーバで自動的に登録され、学校での登録作業の必要はないこと。
- ・ 標準書誌データは学校からは削除出来ないこと。
- ・ 自校で修正・入力した書誌データも標準の書誌データと区別せずに検索・登録できること。
- ・ 各学校からの蔵書データ登録の際、受入日及び購入金額を任意に手入力ができること。
- ・ 各学校からの蔵書データ登録時に各学校独自のデータを入力できること。
- ・ 蔵書一覧等の確認リストの出力ができること。

雑誌

- ・ 前号の巻号を利用し、容易に雑誌登録ができること。
- ・ タイトルと各巻情報は分けて管理でき、検索ができること。
- ・ タイトル一覧画面より巻号(バックナンバー)一覧画面を表示できること。
- ・ 最新巻号の登録時に、直前号の貸出禁止が解除され、最新号を自動的に貸出禁止とすることができること。また、登録時に期限を予め設定することができること。

視聴覚資料(AV)

- ・ 曲名、演奏者、出演者の各種情報を全て登録できること。
- ・ 各種登録情報の全ての項目を検索対象とすることができること。

所蔵管理

- ・ 本籍場所と現在場所を管理できること。
- ・ 資料バーコードの組替処理ができること。
- ・ 書誌情報としての請求記号の他に、所蔵情報として請求記号を別管理できること。
- ・ ISBNコードのある本の蔵書登録については、ISBNコードと独自に貼付したバーコードの2つを読み取るだけで、書誌データと自動的に連携し登録できること。

8-4. カウンター業務(貸出・返却)

生徒用貸出・返却機能

- ・ 児童・生徒向けの容易なUIで、返却及び貸出更新が検索結果等に即時反映できること。
- ・ 現在貸出中の資料名・返却予定日を画面で確認できること。
- ・ 貸出・返却の作業終了後、画面を切り替えることなく次の貸出・返却の処理を実行できること。
- ・ バーコードリーダーの走査により、「貸出確定」「貸出画面／返却画面切替」ができること。
- ・ 児童・生徒が自分で操作可能な貸出状況確認の機能があること。
- ・ 貸出画面には、年度内に借りた累積冊数表示が出ること。
- ・ 累積貸出冊数に応じて表彰メダル表示アクションの変化があること。
- ・ 予約本の返却時にポップアップが表示され、置き置き運用ができること。
- ・ バーコードリーダー自体の受付音ではなく、入力受付、エラー表示、ポップアップ表示時にそれぞれの判別可能な音を出すことができること。
- ・ 利用者情報が表示されている状態で一定時間が過ぎると画面が利用者確定前の画面に戻る。

先生用貸出・返却機能

- ・ 貸出、返却及び貸出更新が検索結果等に即時反映できること。
- ・ 利用者別に貸出の一覧表示ができること。
- ・ 貸出期限の変更ができること。
- ・ 利用者区分ごとに貸出冊数の制限ができること。
- ・ 貸出中の資料を任意に延期できること。また、延期回数が貸出規則の回数を超過したり、貸出延期する資料が予約資料の時は自動的にチェックし、音やメッセージで操作員に通知して延期の可否を判断することができること。
- ・ バーコードによる貸出・返却のほか利用者ID・蔵書IDの手入力による貸出・返却ができること。
- ・ 現在貸出中の資料名・返却予定日を画面で確認できること。

- ・ 貸出規則設定とは別に個別に返却予定日の変更ができること。
- ・ 貸出・返却の作業終了後、画面を切り替えることなく次の貸出・返却の処理を実行できること。
- ・ バーコードリーダーの走査により、「貸出確定」「貸出画面／返却画面切替」ができること。
- ・ 資料の予約ができること。
- ・ 予約中の資料が貸出可能な場合は画面に表示できること。
- ・ 資料の予約については、延べ利用者数1000以上の予約ができること。
- ・ 督促・予約有り等を自動的にチェックし、音やメッセージで操作員に通知できること。
- ・ 除籍・不明・予約・持禁資料を自動的にチェックし、音やメッセージで操作員に通知できること。
- ・ 未返却資料を貸出すと、今までの貸出利用者が確認でき、同時にその自動返却処理が行われること。
- ・ 資料の無効区分(不明・紛失)となっている資料が処理されると、システムが自動的に解除を行うこと。
- ・ ブックポスト返却処理ができること。
- ・ 貸出累計回数の管理ができること。また年度毎の貸出回数も確認できること。
- ・ 貸出中資料を選択し不明/紛失処理ができること。
- ・ 本日の貸出冊数及び返却冊数が画面に表示されること。
- ・ 貸出中資料が返却処理される前に他の利用者に貸し出された場合、元の利用者の返却処理が自動で行われること。

8-5. 催促

- ・ 返却期限を超過している利用者、催促一覧及び催促状の出力ができること。
- ・ 催促状の文面は随時変更可能とし、変更した文面は保存され次回に利用できること。

8-6. 予約

- ・ 先生用・生徒用両方の画面で以下の予約運用が出来ること。
- ・ 検索結果から予約入力ができること。本が在架時でも貸出時でもどちらの状態でも予約が可能であること。
- ・ 返却時に予約本は、メッセージまたはポップアップで予約状況の表示が行われ、取り置きが出来ること。
- ・ 予約棚になった本は、予約者の貸出処理時にメッセージまたはポップアップで貸出可能であることを自動的に知らせること。
- ・ 先生用機能では、予約取り消しや優先順位の変更などの管理を行うことが出来ること。

8-7. 貸出状況確認

- ・ 生徒画面では利用者コードの入力で、現在の貸出状況・予約状況の確認を生徒自ら行えること。
- ・ 先生画面では、利用者検索、所蔵検索の機能から貸出・予約状況の表示が出来ること。

8-8. 蔵書点検

- ・ オンライン蔵書点検機能を有すること。
- ・ ハンディーターミナルを使用し、棚の本の在庫点検を行うことができること。
- ・ PCを使用したオフライン蔵書点検機能を有すること。
- ・ 除籍・未登録・棚違いの資料のチェックリストを印刷できること。
- ・ カウンターを通さず(返却処理をせず)棚に置かれた資料については、自動で返却処理が行われること。
- ・ 蔵書点検の結果、不明資料一覧を印刷することができること。
- ・ 一定(任意指定可)回数以上の不明資料を一括で除籍に変更できること。また除籍資料は任意に復籍する事が可能であること。
- ・ 蔵書点検時に未登録本・仮登録本を検出した場合は、エラーリストにその情報が出力されること。また、エラーリストには、未登録本・仮登録本の資料コードだけでなく、直前に入力された本の書名も併せて表示され、容易に未登録本を探すことができること。

8-9. 年度更新

- ・ CSV形式のデータの取り込みによる新入生等の利用者データ一括登録ができること。

- ・ クラス単位での進級/卒業処理が一括でできること。
- ・ 卒業生に資料の貸出中利用者がいる場合は、その利用者は削除出来ないようになっていること。

8-10. 帳票・閲覧総計

- ・ Excelと連携し印刷プレビューできること。(必要に応じてプリンタに印刷可能であること。)
- ・ 必要に応じて、CSVとしてデータ出力できること。
- ・ 帳票印刷形式に成形されたExcelデータとして出力できること。
- ・ 日別、月別及び年別の貸出冊数帳票の出力ができること。
- ・ ベストリーダの印刷ができること。
- ・ 多読者貸出資料の印刷ができること。
- ・ 資料毎の貸出実績の印刷ができること。
- ・ 個人読書傾向表の印刷ができること。
- ・ 分類別蔵書統計表の印刷ができること。
- ・ 表彰状が印刷できること。
- ・ 全利用者の貸出履歴一覧の印刷ができること。
- ・ 図書原簿の印刷ができること。

8-11. 図書館用掲示板

- ・ 先生画面用のお知らせ機能があること。
- ・ 生徒画面用のお知らせ機能があること。
- ・ 指定した期間のみお知らせを表示させる機能があること。
- ・ お知らせは下書きの機能があり、掲示の可否について設定できること。

8-12. 資料検索機能

生徒用検索機能

- ・ 各学校の図書業務端末から検索が可能で、検索結果として書誌、所在、貸出状況等の情報がリアルタイムに表示できること。
- ・ 自校の蔵書の他に本システムで管理された他校の蔵書情報を検索できること。
- ・ 操作性に優れたGUIベースの検索が可能で、児童、生徒にも操作しやすいものであること。
- ・ キーワード入力時に文字パネルが表示され、マウス操作でもキーワード入力ができること。
- ・ タッチパネルを利用する検索専用端末にも対応可能な検索画面をもつこと。
- ・ 新着図書一覧の表示ができること。
- ・ 新着図書は受入日より一定期間が過ぎたら一覧から自動的に削除されること。
- ・ 検索結果一覧の各項目はソートできること。
- ・ 検索結果一覧で、所蔵状況有無及び貸出可否の表示ができること。
- ・ 設定により、書名、著者名、出版者、任意定義項目、分類、ISBN、資料コード、内容項目等で資料検索することができること。またAND、OR、NOTを使用し、項目間の複合検索が行えること。
- ・ 検索は地域内の他校を含めた横断検索ができること

先生用検索機能

- ・ 書名、著者名、出版者、任意定義項目、分類、ISBN、資料コード、内容項目等で資料検索することができる。書名、著者名、任意定義項目は、全半角混在で検索が行えること。
- ・ AND、OR、NOTを使用し、項目間の複合検索が行えること。
- ・ 検索結果を保存し、その後条件を付加して絞込検索が行えること。
- ・ 資料検索の結果、その書誌の所蔵状況(貸出中・未所蔵資料等)の確認ができること。
- ・ 資料詳細画面で貸出中資料の場合に、利用者氏名と返却予定日の確認ができること。
- ・ 検索結果一覧表示では、所蔵の状態に合わせて表示色が変わること。
- ・ 検索は地域内の他校を含めた横断検索ができること。

8-13. 利用者管理機能

- ・ 利用者データのメンテナンスができること。
- ・ 利用者バーコードの印刷ができること。
- ・ クラス単位での進級/卒業処理が一括でできること。
- ・ クラス更新後、クラス毎に出席番号を設定できること。生徒データを男女別又は男女混合で自動的に氏名順に並び替えができること。
- ・ 画面で一人ずつ確認しながらクラス替えを行う機能の他にExcel等を使ったクラス替え機能があること。

8-14. オンラインサポート機能

情報提供機能

- ・ お知らせ機能によりサービス提供元からの製品・サポートに関する公開情報を参照できること。
- ・ メール通知機能により、サポート情報やサイト更新情報を登録されたメールに自動通知されること。

運用サポート機能

- ・ ライブラリ機能により、操作支援コンテンツや各種ドキュメントの参照・ダウンロードができること。
- ・ FAQ機能により、過去のQ&A情報やアナウンス情報の参照・検索ができること。
- ・ Q&A機能により、Webフォームからの質問発信、回答参照、過去ログ参照ができること。

8-15. ユーザコミュニティ機能

- ・ サービスを利用している利用者間で、情報・データの参照/共有(アップロード・ダウンロード)交換を行えること。
- ・ 掲示板機能の利用ができること。
- ・ ライブラリ機能の利用ができること。
- ・ サイト内データの横断検索ができること。

8-16. オフライン貸出・返却機能

- ・ ネットワーク障害等でサーバへの接続が出来ない場合でも、オフラインで貸出・返却を行えること。
- ・ サーバ接続復旧後に業務を起動すると、オフライン機能で蓄積した貸出・返却データがある場合は自動でメッセージを表示し、一括投入を促すこと。
貸出・返却データの一括登録が完了しないと業務が起動出来ないチェック機能があること。

8-17. 個人情報管理

- ・ 利用者の氏名やヨミについてはデータセンター側に持つ方法の他に、データセンターには持たずクライアント側で管理する方法も選択できること。
- ・

8-18. TRC 連携機能

TRC全件MARC連携機能

- ・ 先生画面で図書館流通センター(以下TRC)との連携設定が可能であること。
- ・ 上記設定より生徒画面の資料検索(調べ学習機能)から、TRC検索サーバとリアルタイムに連動して検索可能であること。検索結果詳細には、学習件名項目や、ページ数、抄録、著者紹介などの項目も表示されること。
- ・ TRC検索機能と連動し、学習件名をキーに検索できること。
- ・ TRC検索機能と連動し、読み物のテーマを選択して検索できること。
- ・ TRC検索機能と連動し、教科書単元をキーに学年→検索範囲の順に条件を絞り込んで検索できること。
- ・ TRC検索機能と連動し、読み物のキーワードを入力して検索できること。

ローカルデータデリバリ機能

- ・ TRCへ発注された本の所蔵データは、TRCのFTPサーバから自動でサーバにダウンロードされ登録されること。
- ・ 所蔵データは学校毎に自動で振分け登録されること。
- ・ ネットワーク障害等でデータをダウンロード出来ない状態が発生した場合、復旧後に取り込まれていないデータは遡って自動で取り込まれること。

- ・ TRCから取り込まれるデータは、登録データ、修正データ、削除データの3種類あり、それら全てのデータ取り込みに対応すること。

8-19. センターモード機能

- ・ 教育センター用の機能として地域内の学校の蔵書が確認できること。

9. サービスのセキュリティ/ファシリティについて

- ◆ データセンターと学校間の通信は HTTPS (SSL 暗号化通信) により機密性と完全性の保護がされること。
- ◆ データセンターのサーバにはネットワークからの不正アクセス対策(ファイアウォールによる遮断対策)が取られていること。
- ◆ IPS/IDS によるインターネットからの不正アクセス監視と攻撃検知・アクセス遮断を行う対策が取られていること。
- ◆ 年 1 回以上のセキュリティ監査を実施し、公知の脆弱性に関しては速やかに対処すること。
- ◆ 通信時のウイルス感染への対策としてリアルタイムのウイルスチェックが行われること。
- ◆ サーバは死活監視に加え、閾値を設定した稼働監視により不具合の自動検知による障害予防対策が取られていること。
- ◆ サービスへのアクセスログが保存され、インターネットからのアクセス状況及びユーザ利用状況の確認が出来ること。
- ◆ データセンターのインターネット接続回線は、マルチキャリアによる冗長化対策が取られ、キャリアの回線障害が発生してもサービスへの接続を維持できる対策が取られていること。
- ◆ データセンター内のネットワーク機器は、全て冗長化対策が取られていること。
- ◆ サービスを提供するデータセンターは、地方公共団体情報システム機構(J-LIS)のファシリティ要件を満たしており、総合行政ネットワーク ASP ファシリティサービスリストに載っているセンターであること。
- ◆ サービスを提供するデータセンターは、以下の各種認定基準を受けたセンターであること。
ISO27001 認定、ISO9001 認定、ISO20000 認定、ISO14001 認定、プライバシーマーク認定
- ◆ データセンターへの入退中は事前申請の許可制とし、出入権限レベル設定(有資格者のみ入室可)の Level3(生体認証)以上の対策を取っていること。
- ◆ データセンターは24時間/365日の運用と安全対策設備監視を行うこと。また、システムの監視/各種運用/トラブル対応及び防犯対策として入退室監視/データ媒体入出庫記録等の管理設備・体制を有すること。
- ◆ データセンターは災害対策として電源対策、地震対策、漏水対策、火災対策の設備を備え、東日本大震災クラス(マグニチュード8)の地震にも対応出来る設備であること。停電時には1日以上バッテリー運用が可能であること。
- ◆ データセンター内の機器へのアクセスは登録者のみがアクセスできる対策が取られており、USB メモリ等、可搬記憶媒体の接続制限対策が取られていること。
- ◆ サービス利用者からの依頼があった場合は、データセンターの見学に対応出来ること。

10. 保守サポート

- ◆ 上記「詳細仕様」及び別紙2「保守基準要項」に記載のシステムサポートを実施すること。
- ◆ 学校側の導入・運用時のQ&Aはインターネットによりサービス提供者が直接対応すること。
- ◆ 必要時にはセンターサーバの操作・確認により直接Q&A対応を行うこと。
- ◆ サービス障害等の緊急時は電話受付(フリーダイヤル)対応を実施すること。
- ◆ サーバ資産・データの運用管理はすべてサービス提供者が行いデータ保障すること。学校ではバックアップ運用を行う必要がないこと。
- ◆ ソフトウェアの障害について、営業時間内において随時対応すること。
- ◆ ソフトウェアの障害発生時の連絡を受けた場合には、速やかに障害の切り分けを行い、早急に現状復帰ができるように対策を講ずること。

11. その他

- (1) 仕様書に記載が無いが必然的に必要となる機器、ソフトウェア、設定については今回の調達範囲に含めること。
- (2) 事業実施に際し責任者を選任し報告すること。
- (3) 本件において知り得た情報は本件の目的以外に使用し、又は第三者に開示もしくは漏洩してはならない。
- (4) 落札者は、落札後にシステム構築の成果物(様式は任意)を提出すること。
- (5) 請求書に小学校、中学校それぞれに係る費用の内訳を記載すること。

以 上

機器仕様書

1. 図書室用ノートパソコン

品名	仕様	数量			
		教委	小学校	中学校	合計
1 コンピュータ本体	CPU インテル® Core™i5-1135G7プロセッサ(HTテクノロジー対応)以上	0	16	10	26
	メインメモリ 4GB/DDR4 SDRAM 以上				
	内蔵HDD 暗号化機能付フラッシュメモリ 128GB 以上				
	DVD-ROM 内蔵 最大8倍速 DVD-ROM / 最大24倍速 CD-ROM				
	パネルサイズ 15.6型ワイド LEDバックライト付TFTカラーLCD(HD(1366×768ドット))				
	LAN 1000BASE-T / 100BASE-TX / 10BASE-T標準、Wake Up On LAN対応				
	インターフェース USB3.2×3 以上				
	リカバリ パソコン本体のリカバリデータディスクとドライバディスクを付けること				
	サポート 5年間のオンサイト保守サービスを付けること				
2 マウス	USB光学マウス	0	16	10	26
3 外部モニター	20インチ以上	0	16	10	26

2. 周辺機器

品名	仕様	数量			
		教委	小学校	中学校	合計
1 レーザプリンタ	本体形状 モノクロレーザープリンタ	0	8	5	13
	解像度 1200×1200dpi以上				
	印刷速度 A4片面印刷 40枚/分以上 A4両面印刷 20枚/分以上				
	給紙方式 A4、B5、A5、レター紙、郵便ハガキが印字できること。				
	給紙カセット 250枚以上				
	インターフェース LANインターフェース(1000BASE-T/100BASE-TX/10BASE-T共有)				
	USB2.0準拠以上				
	サポート メーカーによる5年間保守サービスを付けること				
2 バーコードタッチリーダ	JAN-8、EAN-8/JAN-13、EAN-13、UPC-A、UPC-E UPC/EAN アドオン付(2桁または5桁) Interleaved 2 of 5、Standard 2 of 5 NW-7(CODABAR) CODE39/ CODE93/ CODE128/ EAN-128(GS1-128)/ GS1 DataBar(RSS)	0	8	5	13
	読み取り可能コード				
	最大読み取り幅 65mm(左右マージン含む)				
	インターフェース USB インターフェース USB 仕様 Ver1.1				
	HID クラス仕様 Ver1.11 転送速度 1.5Mbps (USB Low Speed) コネクタ USB コネクタ(A タイプ)				
	最小バー幅 0.125mm(PCS 値 0.45 以上)				
3 バーコードハンディーターミナル	JAN/EAN-13・JAN/EAN-8(アドオン付)、UPC-A・UPC-E(アドオン付)、 Interleaved 2of5(ITF)、Standard 2of5(STF)、CODE-39、CODABAR(NW-7)、 CODE-93、CODE-128、GS1-128(EAN-128)、 GS1 DataBar Omnidirectional(RSS-14)、GS1 DataBar Limited(RSS Limited)、 GS1 DataBar Expanded(RSS Expanded)	3	0	0	3
	読取コード				
	読取方式 COD方式 光源:赤色LED(λD=640nm)				
	読取確認 青・赤・緑3色LED、フザー、バイブレーター				
	キーボード マジックキー:2個、スキャンキー:1個、ファンクションキー:8個、テンキー他:12個				
	通信ユニット USB2.0仕様 Full-speed準拠 USB Bタイプレセプタクルのインターフェースとすること またホスト通信ケーブルや転送用ソフトも調達すること。				
	電源 単4アルカリ乾電池3本。充電器も用意すること。				
充電器 eneloop®単4型3本が充電できること。					

4. ソフトウェア

品名	仕様	数量			
		教委	小学校	中学校	合計
1 基本ソフトウェア	Windows 10 Professional 以上	1	0	0	1
	Windows Server CAL (デバイスCAL)	0	16	10	26
	Office Standard Standard License 2019 以上	0	16	10	26
2 図書管理システム	性能は仕様書記載の通り	1	16	11	28

※小中学校PCのウィルス対策ソフトは、別調達の学校内フリーライセンスのものを使用する。

3 ネットワーク関連機器

品名	仕様	数量			
		教委	小学校	中学校	合計
1 スイッチングハブ	LANインターフェース 1000BASE-T/100BASE-TX/10BASE-T	0	8	5	13
	ポート数 8ポート以上であること				
	その他 マグネットによる壁面設置が可能なこと。				
2 電源タップ	本体形状 3P抜け止め 7個口 電源タップ	0	8	5	13
	サイズ 5M				
	その他 マグネットによる壁面設置が可能なこと。				

保守基準要項

1. 保守サポート業務の概要

- (1) 各学校の教員、教育委員会からの当該契約に基づき機器及びシステムに関するの問合せ対応、故障等障害発生時の対応及び切り分け作業に基づく保守技術者の手配及び障害復旧を行う。復旧に係る部品代及び出張料、技術料は契約に含むものとする。
- (2) 保守を行うにあたっては、図書室業務に支障をきたさないよう配慮すること。
- (3) 約定時間外に作業を行う場合は学校に事前に通知を行い、承認を得てから行うこと。

2. 保守サポート業務

2-1 実施内容

- (1) 各学校の教員および教育委員会からのシステム利用に関する問い合わせに対して、電話・FAX・e-mail・にて調査・回答を行うこと。
 - ① 図書管理システムに関する操作方法および機能
 - ② 導入したハードウェアに関する操作方法
 - ③ 障害及び不具合に関する問合せ(機器、図書管理システム)
- (2) 各学校の教員および教育委員会からの利用不能の通知があった場合、原因の一次切り分けを行い、障害を特定すること。
- (3) 利用不能の一次切り分けの結果、訪問対応が必要な場合は、保守技術者の手配を行い、現地にて復旧作業を行うこと。(作業着手は1日以内、復旧完了までは3開校日以内を基本とする。)
コンピュータ故障時は現場修理対応を原則とし、図書室業務に支障が出ないように配慮すること。
- (4) ハードウェア保守は、導入したすべての機器について行う。
- (5) 消耗品、またはソフトのバージョンアップに係る経費は本調達の対象外とする。
- (6) 問い合わせ及び障害について開始から解決までの対応を行うこと。尚、その経過履歴を残すこと。
- (7) 教育委員会から求められた際は問合せの履歴を報告すること。また、問合せに対する回答内容も提供すること。
- (8) ハードウェア保守作業に従事する技術者は各ハードウェアメーカーの作業実績のある者が行うこと。
- (9) ウイルス感染の対応作業は本市セキュリティポリシーに従って行う。

2-2 実施条件

- (1) 以下の実施条件を満たすこと。
 - ① 学校からの問合せに対して、日中に連絡可能な窓口を受託業者が用意すること。
 - ② 業務実施時間(電話受付時間)は年末年始(12月29日から1月3日)、土曜日、日曜日及び祝日を除く 9:00から17:00までとする。
 - ③ ハードウェア、ソフトウェア別など内容で窓口を分けず、一次受付は1か所で行うこと。

以上